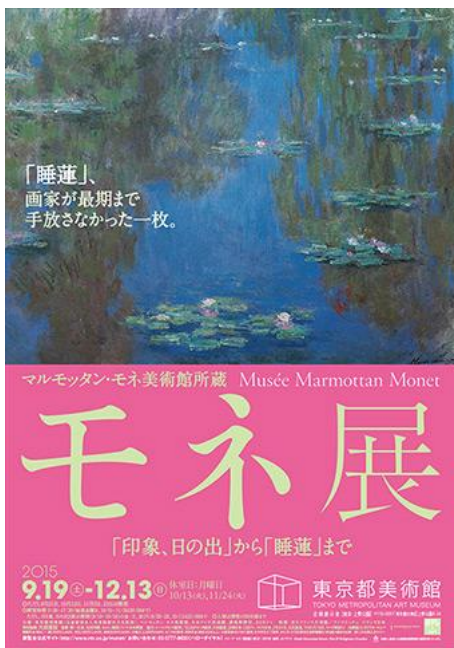


美術鑑賞モネ展の報告

11月18日(水)熊谷駅午前8時01分の電車で上野へ向かいました。ふるさと伝承科、福祉・環境科の方も誘って10名上野駅で集合し美術館へ行きました。館内は平日にもかかわらず40分待ちの行列でした。

会場内のメイン展示は「日の出」から「サン・ラザール駅」に変わっていました。この作品は連作の中の1点である。煙と蒸気のたちこめる移ろい変幻する大気のゆらめきの筆のタッチには感動しました。睡蓮の作品も連作で何回見ても良いものでした。モネの作品は松方幸次郎氏と黒木三次氏によりモネのアトリエからじかに買入れることが出来たので、日本の美術館に沢山あります。

他の会場で「いきがい大学美術工芸科」で水彩画を指導して頂いた野沢優先生が所属した入蒼騎会の「秋期蒼騎展」を鑑賞しました。また、日本版画会展も鑑賞しました。



「サン・ラザール駅」 1977年

頭がいっぱいになり、お腹も空いたので銀座へ行き行列の絶えないお寿司屋で美味しいお寿司を頂きました。楽しい仲間と愉しい時を過ごしました。

